

2021年1月号 / No.232 / 令和3年1月10日発行



© sayaka

# 野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



昨年話題を集めたヒメハマシギ (中央左 東よか干潟 / 撮影：加藤芳隆さん)

## 野鳥さが 232号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- コアシサシの営巣地設置&ブッポウソウの里作りについて-----2ページ
- 愛鳥モデル校活動-----4ページ
- 支部からのお知らせ-----5ページ
- 各地の観察会報告-----7ページ
- 皆さんからのおたより-----10ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報 -----12ページ
- 近隣地区の観察会情報-----14ページ
- 観察会会場までの案内-----15ページ
- 観察会などのお知らせ (2021年1月~3月) -----16ページ



## 役員会報告

(事務局: 島田洋)

【日 時】2020年12月6日

【出席者】11名

【主な話し合い項目】(既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) コアジサシ営巣地について

- ① 干潟展望館「ひがさす」の隣接地にコアジサシ営巣地を整備中である。
- ② コアジサシのデコイをたくさん置く予定。
- ③ 天敵対策用のシェルターも準備していく。
- ④ むやみに人が接近しないように看板などを設置していく。  
(※ 12月までにほぼ完了しています。)

(2) ブッポウソウの里について

- ① 佐賀市富士町下無津呂にブッポウソウの里を作る。
- ② ポールに巣箱を固定した物を20~25基製作し、営巣に適した地点に設置する。
- ③ 巣箱の製作や設置には会員の協力が欠かせない。

(3) カラスカウトについて

2021年2月7日を予定している。

(4) 愛鳥モデル校指導について

東山代小学校と加唐島小中学校の指導は終了した。

(5) その他、今後の観察会等について協議した。



## コアジサシの営巣地設置&ブッポウソウの里作りについて

(支部長: 宮原明幸)

### ●コアジサシの営巣地設置

サントリー愛鳥基金より100万円の助成金を頂き、2020年に佐賀支部で取り組みました事業の一つです。10月20日にオープンした東よか干潟ビジターセンター『ひがさす』横の土地約400㎡を佐賀市より借り受けての設置です。

コアジサシは、毎年東よか干潟へ餌の小魚を捕るために飛来します。また後背地では少数が繁殖します。本来、コアジサシは植被率の低い河川敷や中洲の砂礫地、および海岸の砂浜などで繁殖する鳥ですが、近年の開発で棲みかを追われ、異常気象の影響での増水や高潮により繁殖成功率が落ち、絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

佐賀県支部では、絶滅に瀕したコアジサシに安定した繁殖地を提供するため、サントリー愛鳥基金へ助成金をお願いし頂くことが出来ました。

市より借り入れた土地に、防草シートを張り砂利を入れ・人や小動物の侵入を防ぐためフェンスで囲いました。また、コアジサシを誘致するためデコイを置き鳴き声を流します。ひな鳥を保護するシェルター(土管)も用意し趣旨説明の看板も立てました。



※ コアジサシデコイは県の環境学習活動助成金 10 万円を、看板設置には佐賀市よりの助成金5万円を活用しました。

※ デコイの色塗りは「ひがさす」で公募した親子で実施、参加者に関心を持ってもらい、未来の保護活動に繋げる人材育成に取り組んでいきます。

4 月にコアジサシが飛来し、営巣地を利用してくれるのが楽しみです。



デコイ作り&整備された営巣地と置かれたデコイ (写真提供：水田稔さん)

### ●ブッポウソウの里作り

2020 年『コアジサシ営巣地設置』と併せて取り組んだ事業です。

今年、富士町のMさん宅の納屋に設置してあった巣箱（シジュウカラ用の屋根が壊れた）にブッポウソウが営巣しました。佐賀では、私が知る限り鳥栖で 1 回営巣ただけで、他には聞かない珍しいことです。ただ、今回のことでブッポウソウが富士町を通過していること、環境が整えば繁殖出来ることが分かりました。

ブッポウソウは、夏、繁殖のために九州から本州の山地の林に飛来し冬は東南アジアに渡る鳥です。スギやヒノキの大木があるところを好み、食性は動物食で昆虫類等を食べます。樹洞を巣にし、木製の電柱を利用しますが、現状そのような環境は激減してしまい絶滅危惧ⅠB類に指定されています。

また、広島や岡山ではブッポウソウ用の巣箱を掛け町ぐるみで保護活動の取り組んでいる例もあります。

そこで「e-佐賀基金」へ助成金 40 万円をお願いし『ブッポウソウの里作り』に取り組みました。巣箱はMさんの集落を中心に 30 箱を設置します（今日現在 10 箱設置済み、残りはブッポウソウ渡来期前には終わらせませす。）

富士町が、ブッポウソウの里になることを楽しみに取り組んでいます。



ブッポウソウの巣箱と設置作業 (写真提供：水田稔さん)



## 愛鳥モデル校活動報告

(報告:馬場 清)

2020（令和2年）年度の愛鳥モデル指定校の愛鳥指導が終了しました。  
本年度は伊万里市立東山代小学校（伊万里市東山代町）と唐津市立加唐小中学校（唐津市加唐島）の2校でした。  
日本野鳥の会佐賀県支部が愛鳥指導を受託し、延べ4日間の指導を行いました。

### 【伊万里市立東山代小学校】4年生 64名

#### ① 11月13日 野鳥学習会

始めに学校周辺で観られる鳥たちの生態や種類の説明、ツルの渡りについての学習を行い、支部員3名が判りやすく、ていねいに話し、子供たちは静かに熱心に聞き入っていました。また、会場にはカササギ、ハイタカ等のはく製、放置された巣、シジュウカラ、ブッポウソウ”の巣箱、野鳥の写真集などを展示し、子供たちは興味深く見ていました。これからも鳥に関心を持ち、自然や環境の大切さ実感し、人と鳥との共生、共存が進めば最高です。

#### ② 12月11日 野鳥観察会

4年生64名を6班編成にして支部会員6名で指導した。海岸堤防の上へ、海面にはカモ類、サギ類、カワウの姿がみられた。いつにも観られるカンムリカイツブリは遠い先の方です。干拓地へ移動中、芦原にオオジュリン、カシラダカなどが現れた。田んぼではツグミ、アトリ、カワラヒワなどが観察できた。用水路ではきれいなカワセミの姿に大歓声でした。期待のマナヅル3羽は対岸地へ飛び去った後で残念でした。確認された鳥は35種類でした。

（支部指導参加者：宮原2、田中丸1、江口2、山崎2、福田（利）1、馬場2）



東山代小学校 野鳥学習会&野鳥観察会

### 【唐津市立加唐小中学校】全校生 6名

#### ① 11月17日 野鳥学習会

加唐島内に生息する野鳥たちの生態や種類や特にカラスバトについての話を宮原支部長にお願いしました。その後、シジュウカラの巣箱づくりです。上級生が1～2年生を手助けして、6個の見事な巣箱が完成しました。

学校周辺や家庭の木々に設置され営巣し、巣立ちが楽しみです。

## ② 12月17日 野鳥観察会

島内の山地へ行く予定でしたが、1～2年生がおり（生徒6名＋先生6名＋支部会員2名）学校周辺から漁港まで下り、再び学校に戻る行程で行いました。

防波堤にはカモメもイソヒヨドリもいません。寂しい限りです。

双眼鏡で鳥の姿を観る度に歓声が上がっておりました。また、港周辺や学校、校庭周辺はネコの楽園の様子です。

カラスバトは森林でしょうし、発見できず、モズ、ハクセキレイなど13種類を確認しました。

（支部指導者：宮原2、馬場2）



加唐小中学校 野鳥学習会&野鳥観察会



## 支部からのお知らせ

### ◆ ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

支部報 230号でお知らせした以降の入会者情報をお知らせいたします。

11月入会者 1名      12月入会者 2名

1月入会者 2名      佐賀県支部の会員は現在236名です。

新型コロナウイルス感染予防のため野鳥の会の活動も自粛せざるを得ない状況でした。この間に県外に転居された方、残念ながらお亡くなりになってしまった方がいらっしゃいまして、会員数も減少してしまいました。

野鳥の会会員の皆様！

みなさまの周りに花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃいませんか？ 観察会などにお誘いしてみてください。野鳥の会は「いつでも入会OK」です。



日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。



## ◆ 「有明海から環境を考えるシンポジウム」のご案内

肥前鹿島干潟ラムサール条約登録5周年記念イベントとして、「有明海から環境を考えるシンポジウム」が開催されます。 神山和夫氏（認定NPO法人バードリサーチ）による「有明海全域カモ調査 2020 結果報告」もありますので、支部会員のみならず是非ご参加いただけたらと思います。

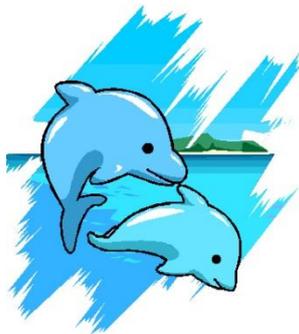
「有明海から環境を考えるシンポジウム」

2021年1月24日（日）13:00-15:30 鹿島市生涯学習センター「エイブル」

●参加申込みが必要です。 件名に「シンポジウム申込み」と明記し参加者全員の氏名・電話番号を記入の上、EメールまたはFAXにてお申し込みください。

Eメール/ ramsar@city.saga-kashima.lg.jp FAX / 0954-62-3717

●第一部「有明海の現在」13:05-13:50「5年にわたる有明海調査の報告」速水祐一氏 / 佐賀大学農学部准教授 ●第二部「有明海のカモ類の生態」14:00-14:40「有明海全域カモ調査 2020 結果報告」神山和夫氏 / 認定NPO法人バードリサーチ 14:45-15:25「カモ類における養殖海苔の食害調査報告」株式会社東和テクノロジー様※マスクの持参及び着用をお願いいたします。※新型コロナウイルス感染症防止のため間隔を空けて配席させていただきます。●お問い合わせ鹿島市役所ラムサール条約推進室 0954-63-3416



肥前鹿島干潟 ラムサール条約登録 5周年 記念

# 有明海から環境を考える

*Aiming for Harmony with Ducks*

## シンポジウム

2021年1月24日(日) 13:00 - 15:30 入場無料

鹿島市生涯学習センター エイブル ホール

※ マスクの着用をお願いいたします ※ 新型コロナウイルス感染症防止のため間隔を空けて配席させていただきます

お申込み先 鹿島市役所 ラムサール条約推進室

✉ ramsar@city.saga-kashima.lg.jp  
FAX 0954-62-3717

件名に「シンポジウム申込み」と明記し参加者全員の氏名・電話番号を記入の上、EメールまたはFAXでお申し込みください

申込期限 令和3年1月20日(水)必着

### 第一部 有明海の現在

13:05 - 13:50  
「5年にわたる有明海調査の報告」速水 祐一 氏 / 佐賀大学 農学部 准教授

### 第二部 有明海のカモ類の生態

14:00 - 14:40  
「有明海全域カモ調査2020結果報告」神山 和夫 氏 / 認定NPO法人バードリサーチ

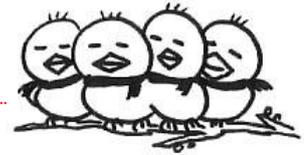
14:45 - 15:25  
「カモ類における養殖海苔の食害調査報告」株式会社 東和テクノロジー 様

お問い合わせ：鹿島市役所 ラムサール条約推進室 ☎0954-63-3416





## 各地の観察会報告



### ■巨勢川観察会報告（佐賀市）

①【日 時】 2020年11月21日

【参加者】支部会員31名 一般参加者3名（案内役：宮原明幸）

【観察された野鳥】カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、アメリカヒドリ、ハシビロガモ、オナガガモ、ホシハジロ、ミサゴ、オオタカ、トビ、チュウヒ、バン、オオバン、カワセミ、ヒバリ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、ツグミ、ホオジロ、オオジュリン、アトリ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ミヤマガラス（38種）

【案内役より】

佐賀野鳥の会との共催です。お天気もよく、のんびり調整池一周2kmを歩きました。ここ数年増加傾向ではありましたが、トモエガモがやたらと増えています。

②【日 時】 2020年12月6日

【参加者】支部会員20名 一般参加者3名（案内役：島田洋）

【観察された野鳥】カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、ミコアイサ、オナガガモ、ホシハジロ、ミサゴ、オオタカ、チョウゲンボウ、オオバン、タシギ、キジバト、ドバト、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシブトガラス、ミヤマガラス（38種）

【案内役より】

当日の天候は晴れて絶好の観察日和でした。会場前は、野鳥の会はもちろんですが、少年サッカーの試合とグラウンドゴルフも開催されていて、駐車場は満車状態です。9時過ぎに観察開始。池には水鳥の大群が浮かんでいます。

何千羽いるのか数えきれません。圧倒的に多いのはトモエガモ。ほんとにうじゃうじゃいます。ヒドリガモ、オオバン、カワウもかなりの数です。

調整池の周囲をぐるりと回る遊歩道。一周約2800mです。歩きながらじっくりと観察しました。オオタカの幼鳥、カンムリカイツブリ、そしてミコアイサのオスを発見。しばらくして今度はミコアイサのメスも登場しました。

参加者の人気を大いに集めていました。

2時間あまりで池を周回して鳥あわせ。

たくさんの野鳥が観察できて「楽しかった」という感想をいただきました。

巨勢川調整池は、実に貴重な観察フィールドです。

これからも観察会の予定を入れていきます。

（トモエガモの大群 写真提供：加藤芳隆さん →）





(巨勢川調整池の全景と、観察会の様子 写真提供：加藤芳隆さん)

### ■白石調整池観察会報告（白石町）

【日 時】 2020年11月29日

【参加者】支部会員27名 一般参加者4名（案内役：宮原明幸）

【観察された野鳥たち】オカヨシガモ、ヒドリガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、トモエガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ズグロカモメ、カワウ、タゲリ、ミサゴ、チョウゲンボウ、モズ、カササギ、ミヤマガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ（25種）

【案内役より】

この日は、東よか干潟「ひがさす」で子供達を集めてのコアシサシデコイの色塗りが午後からあるため、集合場所より調整池までの案内だけで抜けました。調整池はびっしりとカモ類で埋っていました・・・調整池の端には猟師が鉄砲を構えていました。残念ですが合法でしょう。

（ホシハジロ白化個体 写真提供：加藤芳隆さん →）



### ■佐賀城公園観察会報告（佐賀市）

【日 時】 2020年12月12日

【参加者】支部会員19名 佐賀野鳥の会3名 一般参加者17名（案内役：宮原明幸）

【観察された野鳥たち】オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、アメリカヒドリ、マガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、コサギ、バン、オオバン、ミサゴ、カワセミ、コゲラ、モズ、ミヤマガラス、コクマルガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アトリ、マヒワ（30種）

【案内役より】

佐賀県立博物館・佐賀野鳥の会の共催観察会にぶら下がりの探鳥会です。一般公募の参加者も多く長蛇の列が出来ました。 以外だったのは、鳥は出ても10種程度と考えていましたが30種。 最後にはアキニシの実にたかるマヒワの群れまで見られました。

## ■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

①【日 時】 2020年12月16日

【参加者】支部会員16名 一般参加者8名（案内役：田中丸雅雄、加藤芳隆）

【観察された野鳥】クロツラヘラサギ、ツクシガモ、マガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ハヤブサ、ミヤコドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、ハマシギ、コオバシギ、オオハシシギ、ツルシギ、アカアシシギ、アオアシシギ、ソリハシシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ズグロカモメ、ハクセキレイ、ミヤマガラス（26種類）

【案内役より】

今冬一番の冷え込み、最低気温は氷点下となる。 平日水曜日の開催でしたが、県外を含む多くの人が集まりました。 寒さに耐えながらの観察です。

数少ない越冬するシギたち。 チュウシャクシギ・オオソリハシシギ・コオバシギ・ソリハシシギ各1羽。ホウロクシギ2羽も見られた。

寒さのため早めに鳥合わせをして解散。

---

## ■森林公園観察会報告（佐賀市）

【日 時】 2020年12月20日

【参加者】支部会員23名 一般参加者8名（案内役：島田洋）

【観察された野鳥たち】カワウ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、トモエガモ、ヒドリガモ、ミサゴ、オオバン、タゲリ、キジバト、ドバト、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、イソヒヨドリ、メジロ、アトリ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、カササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ミヤマガラス（29種）

【案内役より】

天気は晴れ。 集合場所の森林公園休憩所には、次々に参加者が集まります。

一番乗りは長崎県大村市から来られたお二人でした。 9時過ぎに参加者の確認。さらに森林公園の副園長からも挨拶をいただき、観察会を開始しました。

ツグミがぽつんと1羽。 あとムクドリやヒヨドリが登場しました。

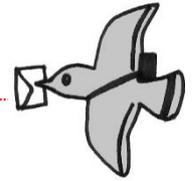
野鳥の数は、決して多くありません。 それでも参加者は、フィールドスコープをのぞいて野鳥の美しさを味わっていました。 嘉瀬川には、カモの群れ。タゲリもいます。 そして、杭の上にイソヒヨドリの雄。森林公園観察会でのイソヒヨドリ目撃は珍しいことです。

2時間ほどで観察会を終了。 初めの方でも野鳥観察会をたっぷり楽しまれたようでした。 あと副園長からの話ですが、森林公園に130本?の樹木を植える計画とのことです。 野鳥の集まる公園になることを期待します。 何本だったかな？





## 皆さんからのおたより



### ●「家に来る鳥たち」・・・小松 常光さん（唐津市）

家に来る鳥たちをコンパクトデジタルカメラで撮影しました。



アオジ♂



アトリ♂



コゲラ



エナガ



シロハラ



ホオジロ



ミヤマホオジロ



夕日のモズ

### ●「年の瀬にうれしいことが」・・・古川 博英さん（吉野ヶ里町）

昨日、吉野ヶ里町新宮田の調整池にかけていた巣箱を3個回収しました。1個、東向きの人家近くにかけていた巣箱にシジュウカラが営巣していました。あと2個、西向きの桜の木にかけていたのには、1個は大グモの冬眠用に、もう1個は動物の住み家？に利用されているようでした。

まあこんなものかと家に帰り、家の前の柿木にかけていた巣箱をあけてみると、なんとスズメが営巣していました。10年前に家の瓦を取り換えた時に屋根の赤土が全部とり



はらわれて、隙間は板でふさがれました。ものごころつくころから、毎年玄関先の瓦下の赤土の中にスズメが営巣していたので、これではスズメがかわいそうだと思います、同じ場所にシジュウカラ用の巣箱をかけました。ところが、スズメは巣箱の裏側に営巣しようとしていました。それで、巣箱の穴を4ミリばかりせまくして設置しなおしましたが、スズメは営巣しませんでした。ずっとそのままに置いて、昨年ダメもとでその巣箱を柿木にかけてみました。そしたら、それが春に営巣してたんですね。びっくりしました。チュンチュン鳴いて群飛しているスズメたちのどれかが、柿木にかけた巣箱の25mmの穴を発見して、愛の巣にしたのですね。子孫繁栄の役に立ててよかったなと感動しました。

正月明けに、調整池の2個の巣箱はもっと人家近くに東向きにかけたいと思っています。全体的に明るい陽ざしがあたるほうに巣箱を向けたほうが営巣するようですね。



### ●「みやき町にオオハクチョウがやって来た」・・・原 秀親さん(みやき町)

みやき町のお茶屋の堤にオオハクチョウがやって来ていました。妻の散歩コースで、オシドリなどカモが来ていると聞いて見に行きました。

11月29日(日)15:00くらいに堤に着くと、マガモ、ホシハジロ、カルガモ、オシドリも10羽以上いました。そしたら南奥の少し外れたところに、オオハクチョウが1羽いました。途中姿が見えない日もありましたが、現在12月30日時点でまだいます。他のカモ類も数が増えて100羽くらいいました。

堤で観察していると、地元の鳥獣保護員という人がきて、話ができました。この堤は鳥獣保護地区になっているそうです。周りから目立たず、カモ類が多くきていたそうです。これまでにコハクチョウは来たことがあるそうですが、オオハクチョウは初めて見たと言われていました。昔はこの堤の横に鍋島藩ゆかりの偉い方のお屋敷があったそうです。



オオハクチョウ



オシドリ





## 皆さんからの野鳥&生きもの情報

### ■秀島 泉さん (唐津市)

11月18日 【唐津市の山中】カケス

※1日と2時間待ちました。やっと近くに来てくれました。

12月8日 【唐津市のダム湖】ルリビタキ

※前回と同じ場所に戻ってきてくれて、たいへん嬉しかったです。  
戻れる環境を崩さないようにしなければと思いました。



カケス



ルリビタキ



### ■八木 ひとみさん (佐賀市)

11月14日 【出水】ナベツル、マナツル、カナダツル、クロツル

12月19日 【脊振山】ハギマシコ

※雪が降るくらい寒くなると、ハギマシコに会いたくて脊振山に行きます。  
何年も会えない年が続きましたがようやく会う事ができました。



カナダツル



クロツル



ハギマシコ



## ●「佐賀県初記録のオオモズ」について

昨年(2020)の2月に佐賀県で初記録のオオモズを宮崎八州雄さんが生物学会に発表されました。鳥類目録には次の改訂で載るそうです。(情報提供：加藤芳隆さん)

# 佐賀県で初めて確認されたオオモズ (スズメ目モズ科) について

宮崎 八州雄<sup>1)</sup>

The first record of *Lanius excubitor* in Saga Prefecture, Kyushu, Japan

Yasuo MIYAZAKI<sup>1)</sup>

## I. オオモズについて

オオモズ *Lanius excubitor* は、ユーラシア大陸北部、北米大陸北部等で繁殖し、北方のものは冬季、やや南下する。日本には数少ない冬鳥として北海道から本州中部に渡来し、九州でも記録がある(五百沢・山形2014)。

日本鳥類学会(2012)ではIVとされ、筆者も福岡県新宮町の相ノ島と長崎県諫早市で観察している(未発表)が、佐賀県では未記録であった(日本鳥学会2012)。

筆者らは2020年2月から3月にかけて、三養基郡みやき町で観察・撮影したので報告する。

## II. 確認記録

- ① 確認年月日 2020年2月4日～3月10日
- ② 確認場所 佐賀県三養基郡みやき町中原(5030-0315)
- ③ 個体数 1個体
- ④ 行動等

加藤芳隆氏が2月4日に農耕地に飛来したのを発見し、筆者も2月8日から3月1日の間に同地で観



図1. オオモズ



図2. 小鳥を食べるオオモズ 図3. 小鳥を飲み込んだオオモズ

察、撮影した(図1)。

この個体の下面には非常に細かい横斑が認められたので、若い個体と思われる。行動範囲は広く、カワラヒワ等を追うのが見られ、3月1日にはメジロと思われる小鳥を捕え、木の枝に掛けて引きちぎって食べていた(図2, 3)。

2月15日には電線に止まって鳴く声も聞かれ、ピキッという、白石町で聞いたオオカラモズ *L. sphenocercus* に似た声(宮崎2002)や、ビーンというカワラヒワのような声も出した。

末筆ながら、本種の情報を頂いた加藤氏に厚く感謝申し上げます。

## 文 献

- 五百沢日丸・山形則男 2014. ネイチャーガイド新訂 日本の鳥550山野の鳥. 文一総合出版, 東京.  
宮崎八州雄 2002. オオカラモズの発した声の記録. 佐賀自然史研究(8). pp66. 佐賀自然史研究会.





## 近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報  
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

### ■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：2月7日(日)、3月7日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：2月2日(火)、3月2日(火) 10:00~12:00 (定例探鳥会) **集合時間にご注意を！**

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 第5駐車場近くの音楽堂ステージ側

日時：2月13日(土)、3月13日(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：2月14日(日)、3月14日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：1月1日(日)、2月21日(日)、3月21日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：天拝山歴史自然公園水上ステージ

日時：1月24日(日)、2月28日(日)、3月28日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：久末ダムの多目的広場横の駐車場

### ■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員&高校生 100 円 一般 200 円 中学生以下無料)

筑後支部の探鳥会は、コロナ対策のため、当分の間支部会員限定のものとなっていますので、筑後支部HPをご覧ください。

※お問い合わせは各支部のHPへ 福岡支部 <http://hachikuma3.blog.fc2.com/>  
筑後支部 <http://grosbeak.blog.fc2.com/>

## mini nature gallery

(山口・角島 撮影：八木ひとみさん)



ダルマガク



ノビタキ



キクイタダキ

### ～野鳥さが原稿募集中～

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

(Eメール) [f\\_baba841@ybb.ne.jp](mailto:f_baba841@ybb.ne.jp)





# 観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①1月17日 武雄市・宇宙科学館周辺



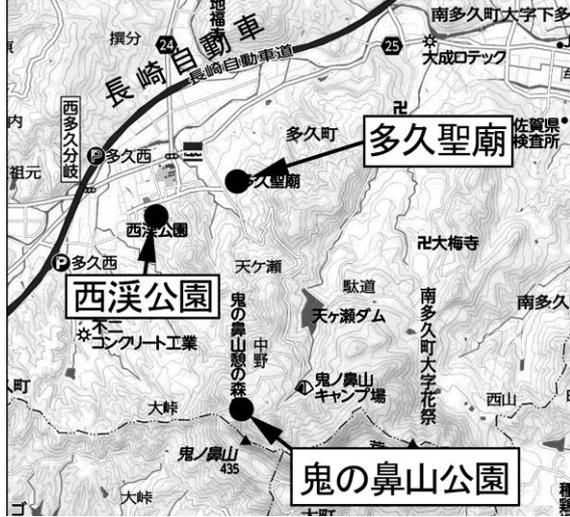
②1月24日 唐津市・松浦河畔公園



③1/31 ⑥2/28 ⑧3/14 佐賀市・東よか干潟



④2月13日 多久市・多久聖廟



⑤2月21日 佐賀市・巨勢川調整池



⑦3月7日 伊万里市・小島古墳公園





## 観察会などのご案内 (2021年1月～3月)

### ①1月17日(日)

#### 宇宙科学館周辺観察会(武雄市)

[集合&場所] 9:00 宇宙科学館近くの武雄温泉保養村駐車場(ペンションピクニック隣り)  
[担当] 馬場 清さん(嬉野市) 090-1084-3852  
[見どころ] 池の「カモ」や周辺の「小鳥たち」を観察します。

### ②1月24日(日)

#### 松浦河畔公園観察会(唐津市)

[集合] 9:00 同公園管理事務所前の駐車場  
[担当] 川原 直嗣さん(唐津市) 090-8673-9152  
[見どころ] 松浦川河口の「海ガモ類」や葦原の「小鳥たち」を観察します。

### ③1月31日(日) ⑥2月28日(日)

### ⑧3月14日(日)

#### 東よか干潟(大授搦)観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00  
佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台  
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225  
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560  
[見どころ] 干潟で越冬する「クロツラヘラサギ」「ズグロカモメ」「ツクシガモ」等を観察します。

### ④2月13日(土)

#### 多久聖廟観察会(多久市)

[時間&場所] 9:00 多久聖廟駐車場  
[担当] 宮原明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085  
[見どころ] 佐賀野鳥の会との共催。  
多久聖廟周辺で冬を過ごす「鳥たち」を観察します。

### ⑤2月21日(日)

#### 巨勢川調整池観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00 佐賀市金立町の東名(ひがしみょう)遺跡「縄文館」前駐車場  
[担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286  
[見どころ] 調整池の「カモ」や葦原の「ホオジロ類」を観察します

### ⑦3月7日(日)

#### 小島古墳公園観察会(伊万里市)

[時間&場所] 9:00  
伊万里市山代町久原の小島古墳駐車場  
[担当]山崎 章弘さん(伊万里市) 090-3013-3132  
[見どころ] 公園で冬を過ごす「鳥たち」を観察します

観察会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、又は宮原支部長の携帯電話(090-2507-7085)へ連絡をして下さい。

## 共通事項

- ① 参加費(資料代、保険代) 佐賀県支部会員 100円 非会員は300円
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 のNHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～  
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル  
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)  
事務局：島田 洋 (☎ 090-2393-1286)  
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>